

「新入社員等研修会 (IN 岡山)」参加報告書

2016年5月25日

営業部営業課 堀田朋男

【まえがき】

2016年5月16日(月)から3日間、技術マネジメント研究所主催の「新入社員等研修会」に参加した。参加者は25名で、その内の9名は第一コンサルタンツの社員であった。

私は、異業種より転職したため、建設コンサルタント業については何もわからない状況であった。今回の研修は非常に勉強になった。以下に研修内容および所感を報告する。

【第1日目】 16日(月)

「若き技術者に期待すること」

講師:(株)第一コンサルタンツ 代表取締役社長 右城猛

右城社長からは日頃より多くのことを学ばせていただいているが、社長が若き頃、どのような思いで仕事に取り組まれていたかの一端をうかがい知ることができた。印象に残った言葉は多い。「ピンチのときに知恵、度胸がでてくる」、「失敗してもなんとかなる、失敗を恐れない」、「成果を形に残す」などである。決して眼前のミッションから逃げず、全力で取り組み続けることの重要性を学ばせていただいた。最後にいただいた、これからの大変革時代で成功するには、若手が奮起すべしとのメッセージを胸に刻み、邁進していく。

「道路設計初級」

講師:(株)福山コンサルタント 中四国支部 計画設計グループ 課長補佐 須知義之

道路設計に関する基礎知識を学習した。道路設計の種類及び設計の手順(ルート構想→概略設計→予備設計→詳細設計)、及びそれぞれがどのような業務をするかをわかりやすく教えていただいた。今まで何気なく道路を使用していたが、発注者との協議を踏まえて緻密な検討のもと設計がされていることを知ることができた。

「橋梁点検(初級)」

講師:(財)海洋架橋・橋梁調査会 技術第二課長 石橋清美

今後、保守点検が重要になる旨の話は社内でも常々聞いていたが、当講習で改めてその重要性を知ることができた。点検の目的は損傷状況の把握、対策区分の判定、補修等の措置、結果の記録のサイクルを回すことである。点検の流れとしては事前調査、現地踏査→点検準備→橋梁点検の実施→結果の整理→判定となっている。橋梁点検が命に関わる大事故を未然に防ぐためにいかに重要かも再確認できた。

【第2日目】 17日(火)

「社会人マナーを学ぶ」

講師: オフィス Soleil 代表 辻たまき

社内でもマナー研修があったが、その補完的な位置付けとして復習する良い機会となった。社員全員が第一コンサルタンツの顔であるという自覚と責任を持って仕事に取り組まなければならない。定期的に再確認する意味でも継続的なマナー研修は必要である。

「建設コンサルタントとは」

講師: 技術マネジメント研究所 代表 上野浩司

建設コンサルタント業界に従事する者としての自覚と責務、及び最低限知っておくべき歴史をご教示いただいた。建設コンサルタントの役割は、社会資本の整備、社会的合意形成や事業執行のマネジメントを支援、第三者の立場として設計審査や施工管理を実施することが挙げられる。また、災害等から尊い命を未然に守るという崇高な使命も同時に帯びている。そのことを肝に銘じ、日々の業務に邁進していかなければならないことを自覚することができた。

「橋梁補修設計(初級)」

講師: 九建設計(株) 技師長 草野健一郎

初日に学習した、橋梁点検の実践的な内容を学んだ。高度経済成長期から数多の橋梁が設計、建設されてきた。それらを安全に利用していくためには点検及び補修が必要である。補修、補強等の定義から目的、さらに具体的な実例を取り上げてわかりやすく教えていただいた。それらの知識は業務の中で実際に活用し、理解を深めたい。

「河川水理と河川設計(初級)」

講師: (株)大隆設計 技術部長 大国明義

河川法は時代を経るごとに役割が広がっている。明治時代には治水による洪水被害の防止であった。その後、水需要の拡大による治水の役割、さらには環境、維持管理が加わっていた歴史がある。河川は国民の生活と密接に絡んでおり、その設計には重要な役割がある。適正に降雨量を解析し、流域の資産を守り、被害を最小限に食い止めなければならない。崇高な仕事であることを知ることができた。

【第3日目】 18日(水)

「土木解析ソフトの世界」

講師:(株)総合システム システム開発部 部長 永井智哉

擁壁に関する解析ソフトの概要をご教示いただいた。基礎知識が全くなかったので、理解は難しかった。ある程度業務になれた段階で再度復習しようと思う。

「CAL/EC」

講師:スタジオ E 松居孝光

営業課に配属後、電子入札に関する多少の知識は教えてもらっていたため、歴史等の背景を教えていただき理解を深めることができた。一方で、電子納品については、業務にまだ携わっておらず、内容はほとんど理解できなかった。今後各課で研修を受ける際に実際の業務を見ながら学習したい。

「砂防ダム調査、計画、設計(初級)」

講師:西谷技術コンサルタント(株) 設計部部长 河本達郎

砂防ダムの調査・計画・設計に関する基礎的な内容を学習した。まず、河川と砂防、治山の違いをわかりやすく説明いただき、砂防堰堤の基本的な構造と役割、透過型、不透過型の違いを教えていただいた。溪流断面調査と透過型砂防堰堤設計の具体的事例を用いて、業務の流れとどのような考えでその結果に至ったかを非常に説明いただくことができ、よく理解することができた。

「土木構造物設計の概要(初級)」

講師:(株)補強土エンジニアリング 代表取締役 小川憲保

土木構造物についての基本を教示いただいた。土木構造物にはコンクリート構造物、鋼構造物、土構造物があり、用途によっても分類される。特に擁壁については普段目にする機会が多いが、じっくり眺めてみるとその場所その場所で最適な擁壁を選択していることがわかる。奥が深い分野ではあるが、大まかな分類等を教えていただいたので、明日からの業務に活かしていきたい。

【あとがき】

3日間という短い日程ではあったが、建設コンサルタント業に関する基本的な知識を習得する機会を得た。今後の業務の理解度が格段に向上できると確信している。加えて、同業他社の新入社員および若手技術者と接し、今後仕事をしていく上で大きな刺激を受けた。貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。

以上